学校番号	323

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	現代の歴史総合　みる・読みとく・考える　改訂版　（山川出版社）						
副教材等	現代の歴史総合　みる・読みとく・考える　ノート						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について知識を深める。
・近現代の歴史の諸事象は世界と日本とが相互的に関わっていることを理解し、関連付けながら理解する。
・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に知識を効果的に活用し、課題を主体的に追究、解決しようとするためのあるべき姿を考える。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、意味や意義、特色などを現在のつながりなどに着目して、多面的に捉え、考察するだけでなく、基本的な事象の知識の構築を行う。

【思考力、判断力、表現力等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそのなかの日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わるということを多面的に理解し、自身の考えとともに表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に知識を効果的に活用し、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。また、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○近現代の歴史の変化にかかわる諸事情について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。 ○諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	○近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期、年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。 ○考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。	○近現代の歴史に関わる諸事象について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ○よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりを踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習のつながり見いだそうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	近代化と私たち	第一章 結びつく世界と日本の開国	a:世界の歴史と日本の歴史がつながっていることを、身近な事象を基に理解する。資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解する。 b:近代化や大衆化などが世界の歴史や日本の歴史との関連性について考察し、表現できる。 c:近代化に伴う生活や社会の変化について、課題を追究しようとする。	定期考査　小テスト	定期考査 レポート課題、小テスト、討論、発表	レポート課題、討論、発表 学習の振り返り

	近代化と私たち	第二章 国民国家と明治維新	a:１８世紀のアジアや欧米諸国、そして日本における国民国家形成までの過程を理解する b: １８世紀のアジアや欧米諸国、そして日本が国民国家を形成していく過程の中で変容する国際秩序について考察し、問いを表現している。 c: １８世紀のアジアや欧米諸国、そして日本が国民国家を形成していく過程の中で変容する国際秩序についての見通しを立て、課題を追究しようとしている。	定期考査、小テスト	定期考査 レポート課題、小テスト、討論、発表	レポート課題、討論、発表 学習の振り返り
２学期	国際秩序の変化や大衆化と私たち	第三章 総力戦と社会運動	a:国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変化について諸資料から、情報を適切に読み取ったりできる。 b: 国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変化について考察し、問いを表現している。 c: 国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変化について見通しを立て、課題を追究しようとしている。	定期考査、小テスト	定期考査 レポート課題、小テスト、討論、発表	レポート課題、討論、発表 学習の振り返り
	国際秩序の変化や大衆化と私たち	第四章 経済危機と第二次世界大戦	a:世界恐慌やファシズム、第二次世界大戦によるさまざまな影響を諸資料から歴史に関する情報を適切に調べまとめ、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。 b:それぞれの諸事象の背景と影響、変化などに着目して国際協調体制の要因などを多面的､多角的に考察し､表現している。 c:国際秩序の変化や大衆化の歴史に関わる事象について、見通しを立て、課題を追究しようとしている。	定期考査、小テスト	定期考査（論述など） レポート課題、小テスト、討論、発表	レポート課題、討論、発表 学習の振り返り

3学期	グローバル化と私たち	第五章 冷戦と世界経済	a:グローバル化による生活や社会の変化について、諸資料などから読み取ったりまとめたりしている。 b: グローバル化による生活や社会の変化について考察し、問いを表現している。 c: グローバル化による生活や社会の変化について学習の見通しを立て、課題を追究しようとしている。	定期考査、小テスト	定期考査（論述など） レポート課題、小テスト、討論、発表	レポート課題、討論、発表 学習の振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度